

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員に対する退職金の支給に備えるため、期末における要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	0	0	13,300,000
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	0	0	70,950,000
退職給付引当資産	12,370,000	1,320,000	0	13,690,000
国際学術交流引当資産	31,350,000	0	2,000,000	29,350,000
専門医事業引当資産	40,000,000	15,000,000	5,000,000	50,000,000
英文誌発行引当資産	17,814,271	0	0	17,814,271
学術講演会基金引当資産	40,000,000	30,000,000	0	70,000,000
小 計	225,784,271	46,320,000	7,000,000	265,104,271
合 計	245,784,271	46,320,000	7,000,000	285,104,271

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	-	(20,000,000)	-
小 計	20,000,000	0	(20,000,000)	0
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	-	(13,300,000)	-
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	-	(70,950,000)	-
退職給付引当資産	13,690,000	-	-	(13,690,000)
国際学術交流引当資産	29,350,000	-	(29,350,000)	-
専門医事業引当資産	50,000,000	-	(50,000,000)	-
英文誌発行引当資産	17,814,271	-	(17,814,271)	-
学術講演会基金引当資産	70,000,000	-	(70,000,000)	-
小 計	265,104,271	0	(251,414,271)	(13,690,000)
合 計	285,104,271	0	(271,414,271)	(13,690,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	1,291,170	970,785	320,385